

# やまきだより 19



この秋は、台風、大雨で各地大変でした。千葉も被災しました。幸い、我家は大丈夫でしたが、我家の隣の地区は3日間停電になりました。

たいへんな8月、9月、10月でした。

さて、お世話になっている方に（不定期ですが）この「やまきだより第19号」を送らせていただきます。ご意見、ご質問、アドバイス、お問合せなんでも結構です。どしどし連絡ください。（本レポートがご迷惑の場合や、不要の場合はその旨連絡ください。配信ストップします。）

## 【六ヶ所ソイルセンター】

汚染土壌処理施設「六ヶ所ソイルセンター」が稼働しました。

土壌汚染対策法の「処理施設」の認可を受けました。

9月から処理運転を開始しています。

最初の土は、東京から船で運んできました。

東京からの土は、船で1000～2000トンのロットで運んできます。



後ろが処理プラント

処理プラントのしくみは「洗浄処理」で、汚染土壌と水を混合して泥状のスラリーにして攪拌混合し、粒子の大きさに分級して分けて、きれいな土にします。

「土の洗濯機」のような設備です。

ソイルセンター入り口にはこの看板があります。

知らない人は「何これ？」と思うでしょうね。



六ヶ所ソイルセンター看板

船で運んできた土は、むつ小川原港で荷揚げします。

むつ小川原港から六ヶ所ソイルセンターまでは約5kmの距離で、ダンプでピストン輸送して六ヶ所ソイルセンターに土を運び込みます。

荷揚げして運び込みに丸2日ほどかかります。

ダンプの搬送路、出入口には交通誘導員を配置して、安全に配慮して運んでいます。

もちろん、途中で汚染土壌をこぼしたり、汚れたタイヤで土をひっばっていないか、環境面も注意します。

これから青森は、厳しい雪と氷の世界になります。六ヶ所ソイルセンターは冬も運転する予定です。吹雪くと、いわゆる「ホワイトアウト」で視界がきかなくなり、特に車の運転は非常に危ない状況になります。

私も車で動くのですが、吹雪の時は控えたいですね。

(厳冬期はともかくとして) ぜひ、見学・視察にお越しください。

東北新幹線で八戸まで来てください。八戸駅までお迎えに行きます。八戸から六ヶ所村は約1時間の距離です。

東京から日帰りも可能ですが、ぜひ、1泊2日の日程でお越しください。

また、汚染土壌処理の相談、問合せ、ウエルカムです。お近くに汚染土壌の話があれば、ぜひ、ご紹介ください。

#### 【中国・熱処理プラント】

中国の熱処理プラントプロジェクトは着々と進んでいます。

基本設計が終わり、製作メーカーが決定して、詳細設計の詰めと、工場製作の準備をしています。

客先の技術担当者は、熱容量計算とか比熱とかに細かくて納得するまで、質問、議論が続きます。

よって会議は長時間になり、なかなか大変です。



むつ小川原港での荷揚げ



汚染土壌の荷揚げ



六ヶ所洗浄処理プラント



中国のプロジェクト会議

燃焼キルンは、無錫のそばの宣興市（ぎきょうし）の工場で作ります。

一般の日本人の感覚では「中国の工場でキルンなんて作れるのかな」でしょう。

これからどのように製作していくのか注目ですし、組立から試運転へと問題なく進めて行けるのか、ちょっと心配ですね。

製品を見る限りでは、真円度も出ているし、溶接も丁寧です。

中近東、アフリカに輸出もしているとのこと、それなりの技術はあるようです。

キルンの後の工程に、二次燃焼室、熱交換塔、急速冷却塔、バグフィルターがつきますが、そのバグフィルターの工場でフィルターの芯材を見ました。

本設備では、これに筒状のフィルターをかぶせて装置内に何十本も並べてセットします。

バグフィルター設備は、東南アジアに輸出しているとのこと、価格を聞いたら日本の半分以下でした。

技術レベルと価格の関係の評価は、ホントに難しいです。今後、ますます「中国は伸びてくるのかな」と感じます。

### 【セミナー・講演 3題】

#### 1. 土壤汚染調査技術管理者試験の受験セミナー

お聞きになっていると思いますが、今年、土壤汚染対策法が改正になりました。

法改正後、初の国家試験なので、受験生はたいへんです。もちろん、私も含めた講師陣もたいへんです。

法改正で変わったところが問題に出ると思われるのでそこを中心にセミナーしました。



燃焼キルン試作工場にて



類似の製品チェック



バグフィルターの芯材工場



受験セミナー みんな一生懸命です

## 2. 経済産業省主催「土壌汚染セミナー」

経済産業省からの依頼で「掘削しない処理方法」「対策しない土地売買事例」を中心テーマに講演します。

「改正土壌汚染対策法とリスクに応じた土壌汚染対策」が正式なテーマで、全国6か所であるのですが、私の出番は12月の札幌と、1月の東京です。



経済産業省セミナー

私の前に（有名な、偉い）細見先生などが「土壌汚染対策法改正について」の（たぶん固いトーンの）話をし、そのあと、私が（軟らかいトーンで）「なんでもかんでも厳密な浄化でなくてもいいですよ」「場合によっては、浄化しない、対策しない方法も適用できるケースがありますよ」の内容で話します。

経済産業省のねらいは「法改正のために、土地取引、再開発などの経済循環に妨げが出てはいけない」「なんでもかんでも高価な掘削除去をしなくてもよい。他の方法もありますよ」かな？

また、土壌汚染対策法の主旨は「国民の健康保護」であって「土地の価格」「土地売買や開発の進め方」は、土壌汚染対策法に縛られなくてもできますよ。必ずしも「土壌汚染対策法ありきではないですよ」を言いたいのだと（私は勝手に）思っています。（もちろんオフィシャルには、こうは出ていません）詳しくは、下記を参照ください。

[http://www.e-jemai.jp/seminar/dojou\\_r1.html](http://www.e-jemai.jp/seminar/dojou_r1.html)

## 3. 基礎セミナー

定例化したセミナーですが「第12回土壌地下水汚染基礎セミナー」が2月21日（金）にあります。産業環境管理協会主催で、会場は神田です。

毎回盛況で満員です。ありがたいことです。

内容は基礎を中心に、レベル・対象は、新しく、または、異動で環境担当になった方、環境管理・ISOの担当者、財務・総務系の担当者様などがターゲットです。もうすぐ募集が始まります。

### 【グルメレポート】

今回のグルメは中国・宣興市（ぎきょうし）から。

宣興市（ぎきょうし）は無錫のそばで、唄の「無錫旅情」に出てくる「太湖のほとり」そのものです。

湖、川の食材がメインです。

まず、蟹。蟹の身をほぐして米粉ビーフンで炒めたものです。



蟹のビーフン炒め

次に、中国ではよく出てくるザリガニ。  
(以前にも紹介しましたが) とても辛いです。

中国の人は、これが大好き。

私は「ちょっとダメ・・・」ですが、周りの人は  
それこそバリバリ食べています。

むいて食べるのですが、身はちょっとだけです。  
指先も、口の周りも真っ赤にして食べてます。



辛いザリガニ

湖や川の魚がたくさん出てきますが、ナマズや雷魚  
の種類が多いです。

これもナマズの仲間で、頭の部分です。

もちろん美味しいですが、似た味が多かったです。

川魚は、軟らかい身が多かったです。

もちろん、ウナギもありましたが、「開いてかば焼き」  
はなかったです。ぶつ切り煮込みでした。



ナマズの頭部

これはこの地区の名物の「黒米 (くろまい)」。

黒いお米のせんべいのようなものです。

味はありませんでした。

「なぜ、こんなものを、ありがたがって食べるの？」  
が正直な感想です。

健康食品なの？ 宗教的な儀式みたいなもの？

詳しい方がいたら教えてください。



黒米 味はなかった

湖に浮かんだレストラン。

舟 (モーターボート) で行って食事しました。

湖の水は、泥色で濁っていて、きれいとは言えない  
状況でしたが・・・。



湖上レストラン

## 【横浜マラソン】

で、今年の最大の目標「横浜マラソン」。

参加ランナーは 28,000 人。登録タイム順にスタート区分が決められて、私は「K」グループ。

「A」「B」「C」・・・「M」「N」まであって、真ん中よりやや後ろ。去年の記録があったので、去年よりは前のグループでした、

8:30 に先頭がスタートでも、ランナーが多くて前に動き出せずのろのろと前進、スタートラインを越えてやっとスタートできたのが 8:45。

スタートまで実に 15 分、去年は 25 分でした。

道中は、関門時間を気にしながら、なんとか「完走」したいと走りました。

横浜マラソン (42.195km) は今回 2 回目です、前回はなんとか完走できました。

前回のタイムは 5 時間 30 分。これを超えようと走り始めました。

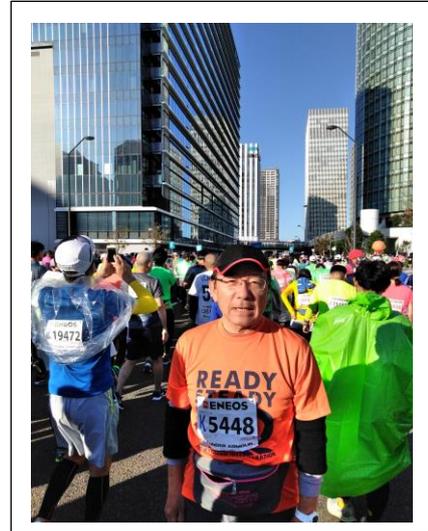
横浜マラソンのコースは、パシフィコ横浜脇のみなとみらい駅がスタートで→赤レンガ倉庫→横浜スタジアム→山下公園→根岸→南部市場 (折り返し) →首都高速湾岸線杉田入口→首都高→本牧ふ頭出口→山下公園→パシフィコ横浜 (ゴール) です。

(周りを楽しむ余裕はぜんぜんなかったですが)

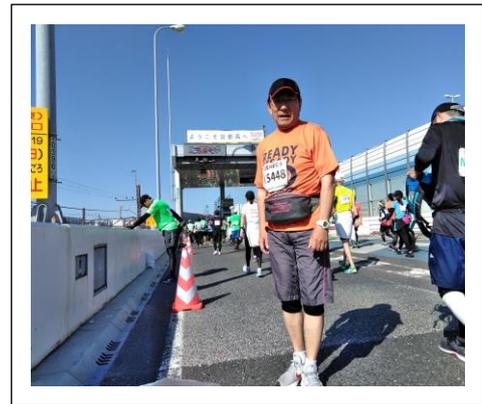
「目指せ！完走！」で、ひたひたとマイペースで横浜の名所を巡りました。

しかし、準備不足、練習不足がたたってか、それとも年のせいか、ペースがあがりません。

20km を過ぎて、30 km を過ぎたあたりで、制限時間に追われ始め、いくつかの関門を「あと 5 分」とか「あと 3 分」とかでクリアーしたのですが・・・



スタート前



首都高杉田入口



首都高上 30km あたり

とうとう「第9 関門」34km 地点でアウト！  
制限時間にほんの数秒足りなくて失格でした。  
回収バスに回収されて、スタート地点に輸送されました。

悔しいというか、残念で、情けなかったです。  
とにかく練習不足でした。

なんとか「リベンジ」したいですが、「この年では  
もう無理かな？」も、ちょっと思う・・・です。

とは言え、  
次は12月の「千葉マリンハーフ」、そして3月の「板橋  
フルマラソン」に挑んでみます。

リベンジなるか？壁にはね返されるか？

次回の「RUNレポ」もお楽しみに。

【ご紹介ください】

- 工場を買収する、工場を移転する
  - 買う土地の土壌調査をしたい
  - 売る土地の土壌調査をしたい
  - 「白の証明（汚染なし）」をしたい  
などの調査の相談
  - 「浄化工事っていくらかかるの？」
  - 「バイオ処理ってホントに安いの？」  
などの対策の相談
- どうぞ、お気軽に！

産業廃棄物や工業薬品のご相談、  
低濃度PCB廃棄物処理も相談ください。



第9 関門 34km 地点でアウト 残念

株式会社ヤマキ環境

〒103-0004

東京都中央区東日本橋 3-6-6

さつきビル 3F

TEL 03-6231-0503

携帯 090-8774-9453

MAIL [yamaki@yamakikankyo.jp](mailto:yamaki@yamakikankyo.jp)

HP [www.yamakikankyo.jp](http://www.yamakikankyo.jp)